

## 技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全・防災 維持管理 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">環境</span> コスト ICT 品質		
技術名称	建設副産物リサイクルの推進	担当部署	九州地方整備局企画部技術管理課
NETIS登録番号	-	担当者	田平、城山、平野
社名等	九州地方建設副産物対策連絡協議会	電話番号	092-476-3546
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>土木建築に関する工事に伴って発生する建設発生土や建設廃棄物の利用を促進し、建設工事の円滑な推進を図るために必要な協議、情報の収集、交換等を行うことを目的として、平成3年5月に九州地方建設副産物対策連絡協議会を設置しました。</p> <p>平成26年9月に「建設リサイクル推進計画2014(全国版)」が策定されており、この全国版推進計画2014をもとに「九州地方における建設リサイクル推進計画2014」を平成27年3月に策定しています。九州版推進計画2014の目標年度は平成30年となっています。九州版推進計画の概要及び取り組み等を紹介します。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>九州版推進計画2014は、九州地方建設副産物対策連絡協議会の構成機関(表-1)が実施する全ての建設工事を対象としていますが、民間等の建設工事においても、本協議会及び各県等の建設副産物連絡協議会等の活動を通じ、本計画の「理解と参画」を得られ、本計画が適切に反映されることを期待しています。</p> <p>なお、本計画の計画期間は、平成27年度から平成30年度までの4力年です。対象品目毎の目標値を表-2に示します。</p> <p><b>九州における重点施策と取組内容</b></p> <p>九州地域の重点的な取り組みとして、次の施策を実施しています。</p> <p>施策1: 民間団体の参画も含めた県単位の建設副産物対策連絡協議会の開催の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県単位の協議会の設置、開催状況等について、情報交換を行っています。</li> </ul> <p>施策2: 産業廃棄物業界と連携した再生クラッシュランのストック状況把握と情報提供の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各県の産業資源循環協会へ再生クラッシュランのストック状況の情報提供を要請しています。</li> <li>・一部自治体では情報共有の体制を構築しました。</li> </ul> <p>施策3: 建設発生木材の再資源化・縮減に関する更なる対応策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伐木材等の現場内利用・工事間利用事例集(案)を作成・公表しました。</li> </ul> <p>施策4: 建設混合廃棄物の排出量削減に関する更なる対応策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場分別マニュアル(案)や現場分別ポスターを作成・公表しました。(図-2)</li> </ul> <p>施策5: 適正な処理が確保される建設発生土受入地の登録制度の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部自治体で制度の導入が始まっている。九州各県でも建設発生土の適正処理が進むよう、建設発生土受入地登録制度の導入手引き・要領のひな型を作成・共有しています。</li> </ul> <p>3. 技術の効果</p> <p>九州版推進計画2014の目標達成状況の確認を行うため、公共発注工事(再生資源利用[促進]実施書の作成保管が義務づけられている工事)を対象とし簡易センサスを平成28年度に実施しました。</p> <p>九州地区全体では、建設廃棄物では全品目が平成30年目標値を達成する結果となりましたが、建設発生土の有効利用率については78%の目標値に及びませんでした。これまでの公共工事間での利用調整・官民マッチングについての取組強化により、さらなる有効利用を図っていきます。(表-3)</p>		

4. 写真・図・表

表-1

九州地方建設副産物対策連絡協議会の構成機関

九州地方建設副産物対策連絡協議会	
構成機関	
国土交通省九州地方整備局	農林水産省九州農政局
福岡県	(独)都市再生機構 九州支社
佐賀県	西日本高速道路(株) 九州支社
長崎県	(独)水資源機構 筑後川局
熊本県	地方共同法人日本下水道事業団 九州総合事務所
大分県	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 鉄道建設本部 九州新幹線建設局
宮崎県	福岡北九州高速道路公社
鹿児島県	(一社)日本建設業連合会 九州支部
福岡市	(一社)日本道路建設業協会 九州支部
北九州市	九州建設業協会
熊本市	(一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部

表-2

「九州地方における建設リサイクル推進計画2014」目標値

対象品目		平成24年度 (実績)	平成30年度 目標 ( )内は全国目標値
7スファルト・コンクリート塊 コンクリート塊	再資源化率	99.3%	99%以上 (99%以上)
		99.0%	99%以上 (99%以上)
建設発生木材 建設汚泥	再資源化・縮減率	92.1%	95%以上 (95%以上)
		88.9%	90%以上 (90%以上)
建設混合廃棄物	排出率 再資源化・縮減率	3.0%	2.5%以下 (3.5%以下)
		49.6%	50%以上 (60%以上)
建設廃棄物全体	再資源化・縮減率	96.3%	96%以上 (96%以上)
建設発生土	建設発生土 有効利用率	77.2%	78%以上 (80%以上)

表-3 平成28年度 簡易センサス結果

県名	As塊		Co塊		建設発生木材		建設汚泥		建設混合廃棄物		廃棄物全体		建設発生土	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績
福岡県	99%以上	99.9%	99%以上	99.8%	95%以上	97.9%	90%以上	98.5%	50%以上	99.5%	96%以上	99.7%	78%以上	63.7%
佐賀県	99%以上	99.8%	99%以上	99.7%	95%以上	99.9%	90%以上	33.2%	50%以上	73.1%	96%以上	97.8%	78%以上	58.2%
長崎県	99%以上	100.0%	99%以上	99.9%	95%以上	98.8%	90%以上	77.6%	50%以上	74.8%	96%以上	99.4%	78%以上	71.4%
熊本県	99%以上	99.6%	99%以上	99.0%	95%以上	93.0%	90%以上	95.1%	50%以上	21.8%	96%以上	98.8%	78%以上	65.7%
大分県	99%以上	99.9%	99%以上	99.6%	95%以上	96.9%	90%以上	97.0%	50%以上	82.3%	96%以上	99.4%	78%以上	67.4%
宮崎県	99%以上	98.7%	99%以上	100.0%	95%以上	91.7%	90%以上	75.1%	50%以上	11.0%	96%以上	97.8%	78%以上	63.6%
鹿児島県	99%以上	98.5%	99%以上	98.1%	95%以上	86.3%	90%以上	81.2%	50%以上	78.2%	96%以上	97.3%	78%以上	73.5%
九州全体	99%以上	99.6%	99%以上	99.4%	95%以上	95.8%	90%以上	94.6%	50%以上	66.4%	96%以上	99.0%	78%以上	66.7%



図-1 協議会開催状況



図-2 現場分別マニュアル(案)・現場分別ポスター